經濟委員會組織

党することになり、企世職で原教しの必要を認め、無難に具職業と新

企畫院原案を作成中

年方班かきますベミーから韓国領帯に開催、樹葉原が背一位居、神日が用、神木總相郡に第一長以下各部長、陸市支皇寺兵衛城立に員「臨時縣追職會議は、六日午後一時「相をはこめ 麒麟線 緩塵相、吉田「川縣連院総教法官」

属層に事變と新政権樹立の促進のみを以って最後的決定を見るものではなく、今後の難能は疑戦として際はるべきと言

臨時興亞院會議

意見完全に一致

される殿時世事で記加州城は四十一「東京也話」第七十五城宮に提出

追加球製の財源

防、共同經濟の新飽制建設に一糸漆れず邁進するやうこの原則を明確にするととなるで

建設することが究極の目的であるとなし近緯期の影磁器ともいよべきものでこ

の嚮ふ所に指

新政權支援の方針全く決定

北京六日回盟」闘時政府の段國

(三) 様太辺特別資計六、000



W的計よりの繰入金六〇〇。

保證準備

大藏當局議會提出考慮

が、の中には無些輸送、最高競行限度での推移は注目されてある。 野椒材

しつ、もるので、こと「一大月 一般機局でな歌歌の作成を戦いであた。 日本して、一大月 一般機局でな歌歌の作成を戦いである。 日本して、一大月 一般情報を指揮することに方戦や決定

| 「現間を出ですして我 | 「新設部隊は現与人職抗 「吹吹を殴べ、これを継続せしめら 十つにも下ます・ | 1 の重要扱いに 投破 | の企 | のため に 必要な | である | であ 捷に輝く南支反撃 臨時總會に附議 **翁源:二華鎮:英德支艦滅裂** れを項に傾倒し、孫戰以來繼攻を 出態せる臨過縣に置して我而はこ 「漢日六日回盟」辦曹並城地尉に

個において行動で明始せる。

恐作

報道部長語る

疾風迅雷の大追撃

潮州西方の敵

漸く展開の

日前後最も注目さる

)観念情界単明について懸証集 その方針とと生活必需品を中心とした七頭 ことになった

敵を奇襲戦滅 鳳觜橋附近の 鳳觜橋附近の

龍雲說得

建 文學 政治經濟關 法 電氣壓豫備爾 鹽女學講義

早稲田大學・中心・出版部出版部 録を沿いて申込むこと 西定見本は必ず至みの瞬度

電氣工學

築講

游

律

游

一ケ年四丁・母野月一四 一年中修了。月一四卅號 一年半修丁・月一門十録 |年半修了•月||四卅銭 一年半條了• 學時月一四 年半瓶丁·月一門廿級 一年中修了•月一周寸楼 一年中華了 - 原设月 | 四 前後明各一年・月一 義 義 莪 義 義 清脆 强化促進

業講

呂田方面の敵 包圍殲滅

日高田の北方山地に駅大部隊を設め、関ちにこれを団際して強攻を一加へ割ち大震戦にいつて四般する

學 講

事實無根

くに此の講義録を奨 働く青少年子女の恐

運進日本の明日の爲め

栗亜の偉業達成の爲め

治療機防

〇〇目指す北江渡河部隊

閭

在任何此口一問結局

燕岐郡各邑面

 $\tilde{[i,j]}$

谷旦町

III II

一同

物鮮物產資稅

臨二八百

職員

闻

燕岐和初等學校

in b

-74 m4.a

飠

¥F

n.p Ti

E.L

高致院支店

為政院支店

用はトレッテ信息性式的社

館

· 直到逐运株式會批 五 八

膿

岐

Jishi Husi

期中 程官

31

爭

#5

副辺

近五樓

大島 | 50 東京 師土 山里 二師

> 九 吉 商 會 成時候終 変化コンピュスン 地震疾動 変化コンピュスン 們無關工具式存此 島致院出張所

問題一四名

大和 屋

Rif

命

成司曙堂本店 山土九 片 371 [1]

殿區

錦陽金融組合

線棉工場 福工場 整

職 11 二 同職 11五 國際 11五 國際

瓫 田材木店

島致院酒造戲

明_数治院 ®旅 ≡館

鳥致院酒造讎

電腦三四番

曜

水製

Œ

■小・はに装問息 「Work And To Mark

E)

四周水

固

非

E 素

鳥致院支局京 城 日 報

光星木工

音部

會



一週投表日間とし、日間に反たるの資格に

流向は一昨年も聞いたことが倒 まっこの人見就識についての

概を解くして同語の謂み方、こと、第三には元証の思習し



の暗臓な気持に得ちくて

日本の戦争は世界に競歩地位をの自の自の戦争なが悪路されるが日本の

八

7;

li

開城稅務署 職會

開城

府

明

め、朝戦にない人柱となられ

婦學勉强

吸る、これ等の兵輸出額は先づ一 に配くは扱が水風物、日本 のが最初で、近頃では炭及、蜀爼一九〇四年に英國に輸出された 日本葉煙草

京四自動聯會社

開

城

為營業所

1

容

洛

11. 有处表

久

我幸兵

世衛

巡

潮漁業組合

夫を、そして子を出州にお旅

は勿論のとと、最影の父を した多くの英語に対しまし

冰

w

瑄

高麗人蘇縣所

城

出

所局

高原原

肉はこの目的に適らものと して質用され米酸には毎年 とは限金素の毎日の問題で



、膽

髙

详

第一工業社

開城府北本川高屋車部側

職 員 一 同 退潮金融組合

大

洋

商店

電話

おりましてはじめの間は大分 家既である耐人の家に帰して 政時代には、ため存領に組ん て心から陰脈致します。 け申した創造族の方々に對し

力があるとが戦略した、た てのるがミルグ・ウイ 取は証めて少量に限定され

全 本 点

 $\hat{\Lambda}\hat{\Lambda}$

孫

企

57:

漢

開

城

蔘

業

組

合

指

还切太無混紅紅台

退潮通氣組合

[昇田] また中等型校の人型的観

頂級中學 校 京城中學 校 學 學 學

席

专生人、市野部汽士夫人、尹贞姓夫人 专生人、市野部汽士夫人、尹贞姓夫人 **平在让智在中人** 河田 打頭商木 10 国大勇蛋身太



らんの細質間によって否へ

☆ナポレオン時代から草地であつ 以上の砂路を往交しました されきした に設物を栽培するのに鋤を起こ

世界獨步は薄荷

II

高開

人所

遊北

元

関題城

|等田||昨年も口面に同か主とな

●新譽新柄質用籍貨費出(一月中 ▼和信 分玩與深具剛列(中旬・・・・・大衛) 容室内班長が具盟山(一月上

素養

重點お

った改正

見から今回新たに附加されたもの

たが、やはり野道の中學のやうに 【中島】肺臓則投の人試方法はと

ジャズと小唄を勧ひまぜて多数庭 しも探覧の間型にされ、一定の間

悲鳴とした「女性美」が取っては

どこ遂行くか分らない、然し一時てゐるやうに、風つてゆく提問は な半やけの表側にしか見えな 丸ぽちやの部が現代風だとい その背、瓜質問のなが過度が好し

れて仕舞つたが、この光は個 の説調子に感じる、だがこの肌との中では、何としても自然自然が

代表計員

鳫

應

圭

百代店

金

在

鉞

開

IJJ

券

番

潮退海產物仲買組合

開城印刷除式會社

社火

鉞

潮濫小學校

変括貿易 **△** 海隆物産 **△** 海隆物産 **△**

Ħ

派报

西洋

有有的此以往一

動作美で

女學生の表情

林

漢

祖

朴

尚

庭服由 學 批 宗 批

釼

開城公立商

業學校

退

溯

防

團

金

玉

周

111

挪

朴

火

源

京畿貿別城醫院

朴

LL

11

患

組御孤熟

洪和

淳

鎭

俊

開

城

府

開

城

金

融

大 松

興 月

開館

委託売物

朴

電

ĮΨ

派東

六雅洙

て行ふのですか

離 松高質業場

春新文年百六千二元紀賀奉而謹

開城少年刑務所

井坡

本型

市

KF

iit.

李

朱 德 德 根 鍾 泰

爾宮內

盆 男

開城人夢販賣部

缺辩 评 罚计

念

基

永

開

城

器

師

會

天一館本店 同支 E - - 0 25 14

開城蔘業株 式會社

水产(※一) 上口 海 全 本中吉 林升吉 本产賞易 水产(※一) 上口 海 全

退潮代 行營業所

張 退

同 業 組 合

ůβ

潮 n H

退潮合同肝油株式會社長 退潮海產物仲買組合長

相

番

100

酌

ル

北龍

金 位部二 店 湿 鏞 韶

ज्ला ज

"張 7. ≅所

成與的菜介原株式有此

市 商 金

同

くせのない葉煙草

眞の世界獨步

质

閒

城

府

火

葬過二

旭

林

址

 F_{i}^{i}

火 部 以 於 配 îï. 部幸 江

朴

倉业 水 槇 韶

羅祖 古河

委托買包 森泰

質易安托 朱 指海陸物産 朱 指 題 加龍 --Ŀ 北淳

行事あって語りなく始式を終った

學校々庭で西本知事、服職緊急 長、坂本新州州技のほか多田郷

「元山」 新春の元山池に北米から

確に成功した前田曳太郎氏が星配

太平洋で大時化に適つたりして

川へ移頭したのが見

は将來これら日本蔵ミンクの形皮 関初州のの高旭で經路者の浦田氏田野がられるその部既は一概が時 報信で約二百五十四に関し歐米で黒の側所掛に収容されたが一頭が

新義州 職生以来初めて

八十頭のミンクを携へた浦田氏

へた研設州野院服の田

第一 さい年齢の市内を行政、本手度出して、初の前別とる院前を考さた

庭において至派自吾集の上召用半は六日平削九時半規第一中漢权々 南知事、原田野祭の支持の単語改

笠は四流日和に彼っ渡り起五二千 大百年の出初式にふっはしい天候

| 壊の日 愛防龍の京会はご耽合始式 | 式は去る大日本町小県校大郎にお

大田大田経院殿の経院的

年期十時から間四山神戦闘場にお

宮城養養を行び、別性なるが強強、深戦、宗武等士の診理技会師に自一句解説に登譲後、肉酸級掛、日監呼、肉酔郷指小屋を連、肉

興亜の意氣高く

防圏の出初式

一千六百年の春を飾る

おける初い融合始め式を滑りな

院職、分列式、原田を発出及の

(永要司機閱濟) 【上在】 【上在】元申精度周月~二 (邱) (西) (下) 常開等があって原田特殊

一説行された「鬼属=山澤豊海知事の記詞」

寫眞說明

て船部に向け行川衛を出籍せんと が出来ないので出第主である[7] にはこの銀方法は指子七百四衛紀(1五〇トン)の関数テクキ ピ分つて観テクキを設むしょ下に れてある。なほ此歌は行子七百四が織いとの下戦となって十二戦 物資助プロ二百頭を積込んだもの の見込み が構造しての下戦となって十二戦 物資助プロ二百頭を積込んだもの の見込み

り引取き第二番場たる公園堂にお 時半一先づ式肌を織った、正午よ いて帝海を破縄中後一時配會した 大火における極防脈の活筋に買いり駆動師職として『神臓金附山 命の後分列行進があって監人 明製に先立ち共補第一分

の第一回の出初式は四日年前九時

本社工場為開始。 1574 谷口合金所京城工場 1575 | 大海 1575 |

三成材木

湿店

三工工

鐵町

I.

所

0

森

安

森野

重實金

物壯

定 部 商

華店

産

史ある解防出初式を終った、時に 麗水馬馬馬馬馬

り松木雅長を読め大統、山本の各へ郡々本町町場において観路に移

翌北軍等的関金寮的手の銀維を 関し採売な確認を表し、併せて 関し採売な確認を表し、併せて に際し投管下各務的額の預嗣に ト、在製金廟山一樽に亘る猛火 り、葆嶽金剛山一僧に亘る強火。 神田 本日都防始式具に常

全州の原所者の明確を確 石御伊達を乞ふ 二名は四日町れる四姓と確定し

> 常務取締役 代表取締役 代表取締役社長

京城湯屋組合

罚易前

木本芳輔

商店

ΙŢΙ

府

*本

叫

場

見らる」に至ったが、三鳥到班を 三日間七干餘名

革織的競技より答解を述べ、「撮」かけての悪悪響敵を見ると、年末「撮長の職家があり、これに對し」 【幸州】 上州間の軍事から年齢に 釜山米穀市場開店 全州驛乘降客

野竜山麻政、立石竜山岡蘭野鼠その悪花巻関係主茂を散み州・庭縣日午明十時から釜山大嶋町の同社支出で豊田代連、山流神莆知事宍 式育社の釜田米砂市場(現物館に未着物)の開業式は昨尾の娘く六 --三十年の歴史を持つ第山正米市場に代る朝鮮米駿市場様

土鉱山府本

金水材

成弱木 元 山 元山貸座敷業組合

盛 樓·吾步樓

不穀貿易

△野

西商

『店

牧

槂

111

府

仲 岡

H

田田豊殿の鼓撃以出に配きむ首を奉出、田田豊保をよし一同出城道理と戦。四日豊保をよし一同出城道理と戦。四日 短隠各地に飛ぶ 容疑想者 盛場を楽した・岡司日間防御各属

地金英日若(そ)金英子さん(ご)の 同家の観戦である西水峰洞八二番|通じて明年より五分戦の増加を示 天然院場者と確定した金閣門氏長」を示し、年齢には元日二十二日七一四次緒)既治――去る一日眞性」においては常年末より柳三別増加 西水羅に三名發生 日が二千五百郎名で正月三日間を 十條名二日が二千六百七十餘名三

見ぬ暖かさで未だに一粒の陰野も見れ暖かさで未だに一粒の陰野も かしてゐたが、やつと小窓せつの なく毎日小韓日和の氣候配きで とは名ばかり、スキーヤー速を頭

本格的の冬

金泉材木店

上田淵精米所

北昌 商會

藤山

岡旭

材

木

店

難貨加商

愈尤植商店

通山

林儀三

一郎商店

主部 仁 果

不行につき、それに各別町も多敗

既北以南の生理原建園開館は大い 大四] 關節東海屬山施樂水出

は四個から四個十段までであつ

電天、新京、吉林七の地各地を約分醛々大陸々で出産、大遊、欧藤 間、福洲開松民の人態後における間口中北道内が部長は底岸閣を部 **闘口部長渡端** (新歌州

の削方を住所不明を住生(a)が確 前十一時十分賦、統由科大統領、大日の一種の合調(第三)大日の 大八番地々先を南地五八島道里

来の壁で電車の窓面を知らずに歴 安治十日間の打撲側を受けた、生 切って跳れ機はされ威酸その他に 加度問金にと続き連合を通じて散物を代表して六日金十四也を思いの。 長老發會關金 瓦南凹

の音音化

京城煉瓦

食道樂

話三六三番

府 蓬鱼

府本町三丁目

y

基礎地質に常路した野口地三個氏 天郎」元山中學校教師から歴史野口視學官着任

漢島 水 源 池 京縣上谷部水道縣

兀

Ш

旅

館

組

末山

和原

 \mathbb{H}

旭

Ħſ

鐵道指定請負人控所

務

所番

菜山

岩神

沙町

幸

Z

入の助 慶南歸令 (六日) 小林 ŧ 京城府外西羅品里六〇〇ノー 精光梁 島一精米所事を受り

この新來ミンク

那は元山府が門智

へた人々の好奇の眼を集めた。

▲ 作格夫氏(原育土木課長)内地 本作格夫氏(原育土木課長)内地 配行中の庭七日寫任 ▲信原署氏(本府文書書長)六日 金物商

料贊善商店

北道 ø 田 議員

石合式會祖 元 Щ 出張 所

館山

三所

py

Ξ

一 仲

ML

被菜木 **板** MJ 電音 話

板 板橋

國 咖組

世話七一七番ヤ百貨店 *野 助 态 特別案內

大阪毎日大江の番組誌 耿山 府 山本 洋 谷 îĥ å 計品 書 ΞĹ

而店

店

雜









物前

杉村正治商店

ılı

府



一朝鮮郵船定期

興 南 邑

局

4

古 鮮製紙

州 邑

上業株式會社

鯰橫藤足高 島菊 次

井 华 三 藏郎藏正郎

專務収締役

副

ñŁ

艮

長

吉州 温 同

長役

職岡 化學 員喜 一久 同美

成鏡北道廳

食

堂

員

同

興

南

片 門 門

外

道州

慶玉

寅

Ä

小

谷

茂

朝鮮更多株式可此 吉州營業所

百州公安農業市屬四校

職

IJ

[11]

落淵

合具

荜

男

組合長梁

在

職 員 一 同 明川酒造組合 明川税務署

[ii] 鴻

歌朝

吉州支店

州罂粟

組 合

岘 炭

日鮮鑛業株式會社

咸 公

校 職 V. 員 團

梅雪 淤

職 1月津

同貢

郡農郡 同翼會廳

州

吉吉

减额非道上三烯醇的成 衛北道 城洲阴间

鮮

み

p

げ

職

員

同益

組合長金

川罌粟組

合

學者の待遇をもつとよく考へて貰ひたいよ

修線完成急ぐ

全鮮の數字を覗く

忠靈塔圖案

★売頭・大売安に・1円「Cタン・ビャルビネル 新設賣 ぎゅ ホール タ ミ シ 主婦 ご 友 乳 液

金鐵用袋鐵墨 祈閒名記人"北京"和田▲鐵用袋鐵墨 祈閒名記人"北京"和田

洗丰"厶 賣 發 社 友 之 婦 主

ディタミン 含有

榮養洗粉

に透透して、肌アレ空助ぎ、レッ・ヴィタ、ミン含有の5ハトム ・一、洗頭毎に製管な星楽が皮下 ・一、洗頭毎に製管な星楽が皮下

たします。

直前税ぎためた根期を取り出し乳したものと信ぜられる。荷に死の一

校が今年中に新設されることになつた。生所倉生の中様三校、商業學校一校・師範一校計十八校の中等學學校一校をはじめ中學校門校、女學校五校・『業學學局の花形エンジーニャ養成の工業學校三校・『業學春養成の二百八萬圓が大蔵省資定を通過したので・

数ひの主

京城聖祭荒華山小學後城 南 中 學 梗

會株御

京城葬儀社

力上學 リコガ オトモ 化方规市 食井 背景

1

下金小安梯般

采良

韭允亚康仁康(宋)宋宋宋宋

而源男夫復明煥永洙赫星民墳盆上



田口朝士位蝶を開ぶるの田口朝士位蝶を開ぶるの 上トラシン

